

2021年6月19日 自然を語る会

日時：2021年6月19日 10時～12時

場所：飯田橋ボランティアセンターと zoom

参加者：19人

担当：鈴木善次さん

前回に引き続き『次なるパンデミックを回避せよ』（井田徹治著）の、3章と4章を鈴木善次さんが丁寧に解説してくださいました。

3章は、ブッシュミートクライシスを取り上げている。熱帯雨林が切り開かれ、伐採地や地下資源の採鉱地などができるが、そこに働く人々の食料として野生動物が狩られるし、道路ができているので市場に持って行って高値で売られている。一方で動物のほうは棲みかが縮小し、野生生物同士の接触が増え、ウィルスの中間宿主となっている。ブッシュミートは生物の絶滅の危機を引き起こし、かつ動物由来感染症が人間に広がる原因ともなっている。日本にいとあまり身近に感じられないが、そんなにも深刻なのかと驚きの声があった。

4章ではペット由来感染症について述べている。オウム病、狂犬病、サル痘などの感染例が知られているし、日本でも症例の報告がある。ペットが逃げて問題になった事件も記憶に新しい。千葉の会員からは、話題になっていた黒い怪鳥（ミナミジサイチョウ）を間近で見たという生々しい報告もあった。またトカゲなどの爬虫類と一緒に写真を撮るのが女学生の間で流行っているとか。インスタ映えするというので、そのような写真がSNSにいっぱい載っているそうだ。

最後にワンヘルスシンポジウムの中で講演された山際寿一さんと五箇公一さんの話が話題になった。

（文責 小川）